

共有デジタル地図共同整備事業

小縮尺地図データ検査手順書 Ver2.1

平成25年6月

共有デジタル地図共同整備業務共同企業体

目 次

1. 総則	1
1. 1. 目的	1
1. 2. 適用範囲	1
1. 3. 「三重県共有デジタル地図小縮尺地図」について	1
1. 4. 検査概要	2
2. 検査手順	3
2. 1. 検査一覧	3
2. 2. 工程別検査内容	3
2. 2. 1. CADによる編集	3
2. 2. 2. DMデータファイル作成	5
3. 標準報告様式	6
3. 1. 編集原図精度管理表	6
3. 2. DM データファイル精度管理表	6
以上	6

1. 総則

1. 1. 目的

本手順書は、「三重県共有デジタル地図小縮尺地図」を法定図書等で有効利用できる精度を満たすための検査手順等を定める。

1. 2. 適用範囲

本手順書は、「三重県共有デジタル地図小縮尺地図」を作成する場合において適用される。

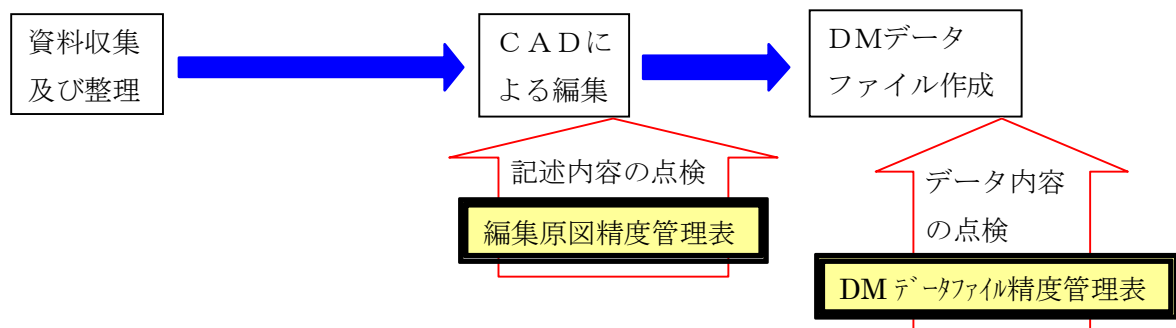
1. 3. 「三重県共有デジタル地図小縮尺地図」について

本業務では、別途、三重県全域のレベル 2,500（道路縁のみレベル 1,000）共有デジタル地図を作成している。「三重県共有デジタル地図小縮尺地図」は、この共有デジタル地図を縮尺 1/10,000 相当にて展開（表示・印刷）する場合を想定し、共有デジタル地図を、より利用しやすくするための縮小編纂を実施するものである。

1. 4. 検査概要

三重県市町総合事務組合公共測量作業規程（平成23年度時点）の第3編地形測量及び写真測量の第8章地図編集に従って作業を行う。成果完成後の品質評価については、別途品質評価手順書に定められており、本要領では、作業時の精度管理について記述する。

なお、公共測量作業規程では、DMデータファイル精度管理表の作成のみを規定しているが、本業務では編集工程における精度管理表作成を追加している。



編集原図精度管理では、近年成果物が紙からデータへ変わったことにより、編集時の図郭の展開サイズ、描画線号等の描画位置正確度の点検は不要となる。また、最新の共有DMデータを元を作成するため、DMデータ以外の資料収集は不要であり、データの接合も一切行う必要は無い。編集方法についても素図を作らず、直接CADによる直接編集となる。

2. 検査手順

2. 1. 検査一覧

検査の内容を一覧に示す。成果としては、「編集原図精度管理表」及び公共測量作業規程に準拠した「DMデータファイル精度管理表」となる。

作業項目	検査目的	検査方法	点検成果	検査基準
資料収集及び整理	—	—	—	—
C A D による編集	図式等の適用の良否	データの目視点検	—	旧 公 共 測 量 作業規程
	編集における地物、地形の取捨選択、総描及び転位の良否	データの目視点検	精度管理表	
	表示事項の誤描、脱落の有無	データの目視点検	精度管理表	
	表示事項の相互の関係の良否	データの目視点検	精度管理表	
D M データファイル作成	データ記録形式の良否	論理点検	精度管理表	公 共 測 量 作 業規程
	データ脱落の有無	データ展開による目視点検	精度管理表	
	データ図式表現の良否	データ展開による目視点検	精度管理表	

2. 2. 工程別検査内容

2. 2. 1. C A D による編集

①図式等の適用の良否

検査目的
縮小編纂が適正に行われているか点検する。
検査方法
検査員が数値編集済データをディスプレイ上で目視点検し、図式表現が適正に変換されていることを確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
点検により発見された誤りについては、修正後再度データ変換を実施する。

②編集における地物、地形の取捨選択、総描及び転移の良否

検査目的
縮小編集が適正に行われているか点検する。
検査方法
検査員が数値編集済データをディスプレイ上で目視点検し、縮小編集に適した取捨選択が適正に行われていることを確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
目視点検の結果は「編集原図精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、追加編集を実施する。

③表示事項の誤描、脱落の有無

検査目的
縮小編集が適正に行われているか点検する。
検査方法
検査員が数値編集済データをディスプレイ上で目視点検し、表現の誤りや過度な編集による脱落が無いか確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
目視点検の結果は「編集原図精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、追加編集を実施する。

④表示事項の相互の関係の良否

検査目的
縮小編集が適正に行われているか点検する。
検査方法
検査員が数値編集済データをディスプレイ上で目視点検し、地物等の相互関係が適正に表現されているか確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
目視点検の結果は「編集原図精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、追加編集を実施する。

2. 2. 2. DMデータファイル作成

①データ記録形式の良否

検査目的
データがDMフォーマットとして適正に作製されているか。
検査方法
検査員が、作製されたデータについて、電算機にて論理検査を実施する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
点検の結果は「DMデータファイル精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、原因を追究し、データの再作成を行う。

②データ脱落の有無

検査目的
データの脱落が無いか点検する。
検査方法
検査員がDMデータを編集装置に再度読み込み、ディスプレイ上で目視点検し、レイヤの欠如、地域的な脱落が無いかを確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
目視点検の結果は「DMデータファイル精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、必要な追加編集を実施し、データの再作成を行う。

③データ図式表現の良否

検査目的
図式表現が適切を点検する。
検査方法
検査員がDMデータを編集装置に再度読み込み、ディスプレイ上で目視点検し、記号表現や注記表現に不自然さが無いかを確認する。
点検数量
全域点検を行う。
点検成果
目視点検の結果は「DMデータファイル精度管理表」に従いまとめる。点検により発見された漏れ・誤りについては、必要な追加編集を実施し、データの再作成を行う。

縮 尺	レベル10,000	図番号		図 名	
平成 年			編 集 修 正		
作 業 機 関			主 任 技 術 者	印	
作 業 員			社 内 検 査 者	印	

用紙の大きさはA5版とする。

3. 2. DM データファイル精度管理表

以上